

# 校長

観点	(主な要素)	校長に求められる資質能力
<b>基本的 資質能力</b>	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高潔清廉な人格で、心身ともに健康であり、児童生徒に対する深い愛情と教職への誇りをもって学校経営を行い、教職員、児童生徒、保護者等からの厚い信頼が確立されている。</li> <li>○多様性の尊重やハラスメント防止等、教職員の模範となる高いコンプライアンス意識を有し、教職員をまとめて組織的協働に繋げるために的確なコミュニケーションができる。</li> <li>○学校の最高責任者として広い視野と高い識見をもち、迅速で的確な判断・決断を行うことができる。</li> <li>○学校の最高責任者として高い使命感を持つとともに、自己を省察し職能を成長させるために学び続けることができる。</li> <li>○自校の役割やアイデンティティを確立し、明確に発信しながら、教職員と児童生徒に自校への誇りと愛着を醸成することができる。</li> </ul>
<b>人権</b>	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高い人権感覚を有し、人権尊重の精神に基づく行動の模範となり、教職員を指導できる。</li> <li>○人権教育に関する高い識見を有し、あらゆる教育活動を通じた人権教育を、年間を見通して計画的に推進できる。</li> <li>○教職員の人権意識の高揚と人権教育に関する実践力・指導力の向上に向け、日常的・系統的な研修等の取組を推進できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒への支援について、校内体制を確立し、その背景にある様々な状況を踏まえて関係機関とも連携しながら、課題解決に向けて統括できる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮等を推進していくための校内体制の構築ができる。</li> </ul>
<b>学習指導</b>	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の管理、指導方法、指導技術、ICT活用、学習評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育の動向を把握し、地域の実情も踏まえた適切な学校教育目標を策定し、その実現に向け、教職員を指揮・統率して取り組むことができる。</li> <li>○学習指導要領等の内容に精通し、教育課程の編成を統括し、学校の教育目標の実現に向けた教育活動を指揮・統率できる。</li> <li>○学習指導要領等の理念の実現、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主體的・対話的で深い学びの実現に向け、興味を引き出す教材研究や他の教職員との協働した授業研究等を通じた授業改善を促すための校内体制を構築し、学校全体の取組を指揮・統率できる。</li> <li>○校内研修を活性化して課題を明確化させ、学校全体の授業改善を指揮・統率できる。</li> </ul>
<b>生徒指導</b>	児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育、情報モラル教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒に対する深い理解があり、受容的・共感的に関わることができるとともに、教職員が児童生徒に適切な指導・支援ができるよう、自らの経験に基づいた的確な指導ができる。</li> <li>○児童生徒一人一人の状態の見立てに基づき、必要に応じて指導・支援のための校内体制を構築するとともに、保護者や関係機関と適切に連携できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした効果的な教育活動の進行管理を行うとともに、地域社会等との連携も含めた校内体制を構築できる。</li> <li>○いじめや不登校、生徒指導上の問題事象の未然防止や解決に向け、法や制度的な枠組みを踏まえ、危機管理意識と見通しをもって組織的な対応を指揮・統率できる。</li> <li>○教職員の情報活用力と情報モラル教育の実践力が向上するよう的確な指導ができる。</li> </ul>
<b>マネジメント</b>	アセスメント、ビジョンやリーダーシップ、学校経営、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○データや学校の内外環境に関する情報の収集・分析から得た学校を取り巻く状況や自校の課題を踏まえた学校づくりのビジョンを定め、その実現に向けてリーダーシップを発揮しながら的確な学校経営を行うことができる。</li> <li>○自校の教職員の業務状況や健康状態を的確に把握し、教職員の意欲を最大限に引き出しつつ、多忙化の解消と効率的な業務の遂行のための管理ができる。</li> <li>○学校や地域の特色を踏まえつつ、社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの推進を指揮・統率できる。</li> <li>○組織のリーダーとして、危機管理マニュアルの的確な運用等、学校安全の確保に向けた危機管理及び危機対応を迅速で的確に行うことができる。</li> </ul>
<b>チーム学校</b>	教職員の掌握と指導、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材との連携・協働（ファシリテーション）、人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な校内体制を構築し、活動を統括できる。</li> <li>○学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化できるよう、保護者や地域社会、専門家や関係機関、他の学校とビジョンを共有し、連携体制を構築して、教育目標の実現に向けた取組を指揮・統率できる。</li> <li>○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成を指導・支援し、校内全体の人材育成を指揮・統率できる。</li> <li>○副校長・教頭や主幹教諭等の計画的な人材育成に努め、マネジメント能力に長けた次世代のリーダーを育成することができる。</li> </ul>
<b>京都ならではの教育</b>	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会情勢や世の中の出来事に精通し、社会全体の大きな流れの中で教育のあるべき方向性を見据え、高い識見と豊かな教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向け、教育哲学や教育理念を周囲に伝播できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を構想し、組織的な取組として指揮・統率できる。</li> <li>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための学校全体の取組を指揮・統率できる。</li> </ul>